

竹原 和義 議員

東海地震に備えて

Q 問 災害時に有効活用できる井戸は何基あるのか。

A 答 届け出の必要なものとそうでないものがあるため正確に把握していないが、災害時に自治会等が活用することは有効な手段と考えるので、今後井戸の把握に努めたい。

協働事業を提案する

Q 問 様々な不要品を回収、再生する事業を行うNPOみどりの家モデルの構築を提案するがどうか。

A 答 地域と企業と小規模授産施設みどりの家が協働して、地域通貨との連携により効果的に運営されているとのこと。市内授産所等へ情報提供するとともに、市としても調査

研究し、活用できる部分は積極的に取り入れたい。

(仮称)全国住みよいまちづくり袋井サミットの開催を提案する

Q 問 第58回わかふじ国体から5年経過を記念し、住み良さランキング100の市町村を集結させて「全国住みよいまちづくり袋井サミット」を開催してはどうか。

A 答 興味ある提案ではあるが、いま少し考えさせてほしい。



地下水汲み上げポンプ(井戸)

高木 清隆 議員

中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況は

Q 問 基本計画の柱に、何を位置づけ、掲げた活性化のテーマ(目標像)とは。

A 答 テーマ、目標像は、コンパクトシティを目指し、人が住み、集う健康文化拠点のまちとした。

Q 問 活性化の目標像を踏まえた基本方針(コンセプト)とは。

A 答 基本方針は、衰退が進むまちの再生と多くの人々が住み、大勢の人が集う日本一健康文化都市ふくろいの中心市街地のにぎわいを創出することとした。

Q 問 基本方針(コンセプト)を踏まえた取り組み施策とは。

A 答 事業案としては、JR袋井駅の建設を核として、周辺に宿泊やコンベンション機能、医療・集合住宅・商業機能を持つ再開発ビル、駐車場の建設等のハード事業、原野谷川等の利活用によりウォーキング客や観光客の回遊を中心市街地にももたらすソフト事業、子育て支援に向けて都市福祉施設の充実を図る事業、加えて、まちのバリアフリー化など安心、安全な健康なまちを推進する事業を提案している。



観光案内所設置予定地周辺